

事業番号	366
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民講座開催事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	社会教育係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 文化・スポーツ		16 生涯学習		1 学習の機会を提供します									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	2		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画	社会教育法第20条、小牧市生涯学習推進計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民講座は、市民の方々の知識教養を深めるとともに、技能の習得や趣味を広げることに より、心豊かな人間形成や地域社会に還元する人づくりを目的に開催する。														
	内容 (手段)	<p>■25年度実施内容  実生活向けには、男の家庭科、女性の学級、料理など、歴史・音楽・文化の学習としては、  花、漆芸、薪能、洋楽ポップス体験など、平成25年小牧山城築城450周年につながる講座  として愛知文教大学の先生による講座「甲冑に学ぶ」を実施した。  開催場所：小牧市公民館  受講料：1回あたり150円  ※材料費は実費負担  職員は、市民講座の企画・運営事務。市民講座修了生の育成・相談事務。</p> <p>■25年度直接経費の内訳  講師謝礼(1,164,400円)  消耗品費等(75,538円)  使用料等(12,700円)</p> <p>■26年度直接経費の内訳  25年度と同様に実施する。  講師謝礼(1,218,000円)  消耗品費等(96,000円)  使用料等(40,000円)</p>														
	受益者負担	有 市民講座受講料 1講座1回150円(回数は講座により異なる)														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	886	937	1,252	1,354	
		正職員	従事者数	人	0.02	0.02	0.02	0.02
			人件費	千円	105	105	105	105
		その他職員	従事者数	人	0.12	0.13	0.13	0.13
			人件費	千円	220	1,300	0	0
		費用合計	千円	1,211	2,342	1,357	1,459	
	対前年比	%			193.3	57.9	107.5	
財源	一般財源	千円	886	2,032	979	1,088		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	325	310	378	371		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	市民講座開催数	回	目標	78	104	100	100
			実績	85	88	102	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	参加者数	人	目標	405	405	400	400
			実績	402	355	543	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		市民が、知識・教養及び技能の習得や趣味を広め、ゆとりある生活と市民相互のつながりを深めるため、歴史・音楽・文学・料理・一般教養等の講座を前期・後期に分けて小牧市公民館で開催した。小牧山築城450周年につながる講座を行うなど講座数が増加したため参加者数も増加した。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		より多くの市民の学習ニーズを把握する必要がある。また、地域で行われている生涯学習活動がつながり、地域課題解決に活かされるような講座を開催する必要がある。	
	平成26年度の改善内容		市民が、ゆとりある生活と市民相互のつながりを深めるため必要な、幅広い学習の機会の提供ができなくなる。	
	平成26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)		3あい事業の役員等を対象に講座を企画するための講座を実施。行政経営分析結果を基に講座事業の分析を行う。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	市民のゆとりある生活や市民相互のつながりを深めるために、幅広い学習機会の提供は必要である。		
	27年度以降の改善案	市民の学習ニーズを把握するため、市民講座レポーター等の方策を検討する。また、生涯学習を通して、地域力が向上し、地域の課題解決につながる仕組みを検討し、第3次小牧市生涯学習推進計画を推進する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。講座開催事業については、25年度に実施した経営分析の結果を基に改善に取り組むこと。